

【科目名】	研究法	専門分野(1単位)	【講師名】 櫻井直人(作業療法士):医療機関にて14年実務経験				
【講義期間】	3年次後期		【対象学生】第3学年 作業療法学科				
【時間数】	15時間 (8時間 8回)		【時間帯】 ~ (他時間割参照)				
授業内容・目標	作業療法の主要な研究方法について学ぶ 3年間で学んだ作業療法に関する知識を復習する						
前提知識	作業療法に必要な検査・評価方法の理解						
【実施形態】	講義(○)		演習()		実習()		
到達目標	研究に必要な基礎知識を習得し、具体的な研究計画を立案出来るようになる						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○	○				
	知識・理解		○				
	思考・推論	○	○				
	実践・表現	○	○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	研究法の概論、研究の種類 ※補講 シングルケースのデザイン	調査研究、事例研究、実験研究 症例研究と症例報告(ABデザイン、ABAデザイン、ABABデザイン など)	櫻井
	2	データの区分(尺度の種類) ※補講	質的尺度(名義尺度・順序尺度)、量的尺度(間隔尺度・比率尺度) データの信頼性と妥当性(バイアス)	櫻井
	3	代表値、検定 ※補講	代表値とは?(中央値、最頻値、平均値 等) パラメトリック検定(t検定)、正規分布、ノンパラメトリック検定(X ₂ 検定)	櫻井
	4	帰無仮説と検定の手順 ※PC使用予定	帰無仮説の成立とは? 検定の手順(p値と有意水準)	櫻井
	5	研究のデザインとエビデンス	メタアナリシス、ランダム化比較試験(RCT)、コホート研究(前向き・後向き) ケースコントロール研究、前後比較研究	櫻井
	6	横断研究と縦断研究、介入研究と観察研究	独立変数と従属変数、スクリーニングテストの評価(ROC曲線とは?)	櫻井
	7	1~6のまとめと評価・研究計画書の書き方について	確認テスト(国家試験レベルの問題) 研究計画の基礎的理解	櫻井
	8	まとめと評価	症例を通じて学んだ基礎知識、専門知識 作業療法を行う上で必要な知識全般	櫻井
教科書 参考書	国家試験対策に必要な教科書 標準作業療法学 作業療法研究法(第2版)、クエスチョンバンク作業療法士専門問題 国家試験問題解説2020			
授業に必要な物	授業内にてPCを使用予定			
備考	必要物品については、各担当教員に確認すること			

【科目名】	職業関連活動援助技術	専門分野(1単位)	【講師名】 佐藤こずえ先生(精神保健福祉士) 小松原靖子(作業療法士):医療機関にて19年実務経験 金澤聡(作業療法士):医療機関にて21年実務経験 川崎加奈(作業療法士):医療機関にて14年実務経験				
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】第 3学年 作業療法学科				
【時間数】	15時間 (2時間 8回)		【時間帯】 : ~ : (他時間割参照)				
授業内容・目標	障害がもたらす職業生活の支障について理解する。 職業関連領域の評価の目的および日本における職業リハビリテーションについて理解する。						
前提知識							
【実施形態】	講義(○) 演習() 実習()						
到達目標	職業関連活動における作業療法士の役割を理解する。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)				100		
	実施時期				平時・当科目終了時		
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解	○			○	○	
	思考・推論	○			○	○	
	実践・表現	○			○	○	

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月2日	1	職業関連活動総論	職業関連活動とは、障害者の就労制度、就労移行支援事業 職業能力適性の評価 他	小松原
4月6日	2	障害者就労移行支援施設見学①	Aグループ:NPO法人 グループゆう ワークスペース歩°歩° Bグループ:社会福祉法人 やまとみらい福祉会 オルタハ乙女 CDグループ:職業関連援助技術ワークシート作成	金澤 小松原
4月6日	3	障害者就労移行支援施設見学②	Aグループ:NPO法人 グループゆう ワークスペース歩°歩° Bグループ:社会福祉法人 やまとみらい福祉会 オルタハ乙女 CDグループ:職業関連援助技術ワークシート作成	金澤 小松原
4月13日	4	障害者就労移行支援施設見学③	Cグループ:NPO法人 グループゆう ワークスペース歩°歩° Dグループ:社会福祉法人 やまとみらい福祉会 オルタハ乙女 ABグループ:職業関連援助技術ワークシート作成	川崎 小松原
4月13日	5	障害者就労移行支援施設見学④	Cグループ:NPO法人 グループゆう ワークスペース歩°歩° Dグループ:社会福祉法人 やまとみらい福祉会 オルタハ乙女 ABグループ:職業関連援助技術ワークシート作成	川崎 小松原
4月13日	6	見学実習のまとめ	グループに分かれて情報共有・まとめ	小松原
5月7日	7	就労支援事業の実際	障害者の職業リハビリテーションとは、障害者雇用の現状、障害者特性と就労のポイント	佐藤こずえ先生
5月7日	8	就労支援事業の実際	職業選択と就職活動、職リハで求められているOTの専門性	佐藤こずえ先生
教科書 参考書	標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学			
授業に必要な物	PC・プロジェクター その他			
備考	施設見学は私服。髪の毛の長い人は臨床実習と同様に髪をまとめること。			

【科目名】	福祉・機器活用援助技術Ⅱ	専門分野(1単位)	【講師名】 伊藤彰先生(作業療法士):医療機関にて24年実務勤務 金澤聡(作業療法士):医療機関にて21年実務経験 吉田翔太(作業療法士):医療機関にて9年実務経験				
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】第 3学年 作業療法学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】 9:00 ~ 10 :30 (他時間割参照)				
授業内容・目標	・住環境支援の概念および実践(基本的知識、住環境評価・介入)について学び、理解する。 ・自助具の概念及び実践(疾患との適合、作製)について学び、理解する。						
前提知識	・各疾患の病態および症状や特徴の理解(自助具)						
【実施形態】	講義(○) 演習() 実習()						
到達目標	・住環境支援の概念を理解し、住環境評価・介入ができる。 ・各疾患に対し、自助具の適切な選定の視点を身に付ける。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		90		10		
	実施時期		13回目		終了後		
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解		○		○	○	
	思考・推論					○	
	実践・表現					○	

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月2日	1	住環境整備について	住宅の機能、日本の住宅の特徴、住宅が具備すべき性能、住宅改修に必要な情報、住宅改修の考え方と工夫、場所別の住宅改修の要点、	金澤
4月2日	2	住環境整備について	車いす(手動車いすの各部名称、車いすの走行に必要な開口幅、介護保険制度)	金澤
4月7日	3	住環境整備の手段と基本的配慮	福祉用具(移動補助具、入浴関連用具、更衣・整容関連用具、トイレ関連用具、食事関連用具、家事支援用具、各種スイッチ、その他)、各種体験	金澤
4月7日	4	住環境整備の手段と基本的配慮、福祉機器の理解	障害別住宅改造・福祉用具、脊髄損傷の福祉機器	金澤
4月8日	5	自助具(概要・計画)	自助具についての理解	吉田
4月12日	6	自助具(作成)	自助具作成	吉田
4月12日	7	自助具(作成)	自助具作成	吉田
4月16日	8	図面作成	図面作成	金澤
4月16日	9	図面作成	図面作成	金澤
4月19日	10	自助具	発表会	吉田
4月19日	11	自助具についての理解(疾患別)	疾患別の自助具	吉田
4月21日	12	福祉機器の理解	脳卒中患者の福祉機器	吉田
4月28日	13	まとめと評価	福祉機器に関連する理解	吉田
8月3日	14	福祉機器活用の実際	福祉機器とは、適合範囲、使用方法、3Dプリンター	伊藤先生
8月3日	15	福祉機器活用の実際	福祉機器とは、適合範囲、使用方法、3Dプリンター	伊藤先生
教科書 参考書	作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 福祉用具学(メジカルビュー) OT・PTのための住環境整備論 第2版(三輪書店)			
授業に必要な物	PC・プロジェクター			
備考				

【科目名】	作業療法管理運営、法規	専門分野(1単位)	【講師名】 渡部達也先生(作業療法士):医療機関にて22年実務経験 川崎加奈(作業療法士):医療機関にて14年実務経験				
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】第 3学年 作業療法学科				
【時間数】	16時間 (2時間 8回)		【時間帯】 9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)				
授業内容・目標	作業療法士として現場で働くために、関連する制度や業務内容、管理・運営について理解する。						
前提知識	1.2年次の講義内容						
【実施形態】	講義(<input type="radio"/>) 演習(<input type="checkbox"/>) 実習(<input type="checkbox"/>)						
到達目標	作業療法に関する各制度を理解する。 作業療法の記録や報告の重要性に気付くことができる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		90		10		
	実施時期		8回目		終了後		
	補足						
	関心・意欲	○			○		
	知識・理解		○		○		
	思考・推論		○		○		
実践・表現		○		○			

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月5日	1	医療福祉制度、作業療法の診療報酬・介護報酬	社会保険制度(介護保険、障害者総合支援法)、診療報酬と請求の仕組み	川崎
4月8日	2	作業療法に関連する制度・法規	理学療法士法及び作業療法士法、個人情報保護に関する法律、その他関連法律	川崎
4月15日	3	医療経済	リハビリテーション医療に対する経済学的な視点と作業療法の未来	川崎
4月15日	4	日常業務と管理運営	日常業務、管理運営(感染対策、リスク管理など)	川崎
4月21日	5	作業療法の記録と報告	記録の目的と種類(SOAP、生活行為向上マネジメントシート、PDCAサイクル、ジェノグラム)	川崎
4月22日	6	管理運営の要素、作業療法部門の管理・運営	組織とマネジメント、作業療法部門の開設と起業	川崎
4月23日	7	起業について	管理・運営の実際	渡部先生
4月28日	8	まとめと評価	社会保険制度、作業療法に関わる法律、記録、感染対策の知識	川崎
教科書 参考書	標準作業療法学 作業療法学概論 第3版			
授業に必要な物	PC・プロジェクター その他随時確認すること			
備考				

【科目名】	地域作業療法学総論	専門分野(4単位)					
【講師名】	渡部達也先生(作業療法士):医療機関にて22年実務経験		北林明子(看護師)				
	櫻井直人(作業療法士):医療機関にて14年実務経験		金澤聡(作業療法士):医療機関にて21年実務経験		川崎加奈(作業療法士):医療機関にて14年実務経験		
	小松原靖子(作業療法士):医療機関にて19年実務経験		橋本 円(作業療法士):医療機関にて12年実務経験				
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】第 3学年 作業療法学科				
【時間数】	60時間 (2時間 15回)		【時間帯】 : ~ : (他時間割参照)				
授業内容・目標	地域作業療法の基本理念を学ぶ 地域作業療法における、各対象領域の実際を学ぶ						
前提知識	作業療法に関わる各論						
【実施形態】	講義(○) 演習() 実習()						
到達目標	地域におけるチーム医療を理解し、その中で作業療法の役割を理解する。 各論を踏まえたうえで、地域における作業療法の流れを理解し、評価や実施方法がわかる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		50		30	20	
	実施時期		第18回				
	補足					グループワーク・実習	
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解	○	○		○	○	
	思考・推論	○			○		
実践・表現	○			○	○		
授業計画							
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード				講師
4月1日	1	地域作業療法総論①	総論:地域とは				川崎
4月2日	2	地域作業療法総論②	総論:制度・施策(介護保険法、障害者自立支援法など)				川崎
4月5日	3	地域作業療法総論③	総論:アセスメント～マネジメント				川崎
4月6日	4	地域における高次脳機能障害に対する支援①	高次脳機能障害に対する地域支援①				金澤
4月6日	5	地域における高次脳機能障害に対する支援②	高次脳機能障害に対する地域支援②				金澤
4月7日	6	地域作業療法各論①	病院(身体機能領域、精神機能領域)、診療所(クリニック)				川崎
4月7日	7	地域作業療法各論②	介護老人保健施設、介護老人福祉施設				川崎
4月8日	8	地域作業療法各論③	通所介護施設、通所リハ、訪問作業療法				川崎
4月8日	9	地域作業療法各論④	地域包括ケアシステム、地域包括支援センター				川崎
4月12日	10	地域作業療法各論⑤⑥	⑤発達支援と教育、⑥認知症支援と在宅(終末期)				川崎
4月14日	11	地域作業療法各論⑦	地域生活移行(ACT:包括的地域生活支援プログラム)				川崎
4月14日	12	地域作業療法各論⑧	就労支援(高次脳機能障害、IPSなど)				川崎
4月15日	13	地域作業療法の実際①	症例検討と症例報告①				小松原
4月16日	14	地域作業療法の実際②	症例検討と症例報告②				小松原
4月16日	15	地域作業療法の実際③	症例検討・目標とアプローチの検証①				小松原
4月19日	16	在宅医療について	他職種連携、包括的なりハビリテーションの実際				櫻井
4月20日	17	地域作業療法の実際④	症例検討・目標とアプローチの検証②				小松原
4月22日	18	地域作業療法の総論及び各論のまとめ	地域作業療法の総論及び各論の知識				川崎
4月22日	19	介護予防①	予防教室の実際				櫻井
4月22日	20	介護予防②	一次予防、二次予防、三次予防とは?				櫻井
4月23日	21	地域包括支援センターについて	地域医療の実際				北林先生
4月23日	22	地域包括支援センターについて	地域医療の実際				北林先生
4月23日	23	訪問リハビリテーションの実際	訪問看護ステーションの役割と訪問リハビリ				渡部先生
4月26日	24	地域作業療法の実際⑤	症例検討(領域1)				櫻井
4月26日	25	地域作業療法の実際⑥	症例検討(領域2)				櫻井
5月6日	26	地域作業療法の実際⑦	症例検討(領域3)				櫻井
8月3日	27	地域作業療法総論④	生活行為向上マネジメント(MTDLP)とは				橋本
8月3日	28	地域作業療法総論⑤	生活行為向上マネジメント(MTDLP):ケーススタディー①				橋本
8月4日	29	地域作業療法総論⑥	生活行為向上マネジメント(MTDLP):ケーススタディー②				橋本
8月4日	30	地域作業療法総論⑦	生活行為向上マネジメント(MTDLP):ケーススタディー③				橋本
教科書・参考書	標準作業療法学 専門分野 地域作業療法学 第3版						
授業に必要な物	PC・プロジェクター その他						
備考	体験実習では、髪の毛の長い人は臨床実習と同様に髪をまとめること。						

【科目名】	臨床実習Ⅱ-①	専門分野 (8単位)	【講師名】 櫻井直人(作業療法士):医療機関にて14年実務経験 OT学科教員				
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】 第 3学年 作業療法学科				
【時間数】	360時間		【時間帯】 9:00 ~ 17:00 (他時間割参照)				
授業内容・目標	指導者の元、基本的作業療法を体験し実践する。また保健・医療・福祉の各分野の職場における作業療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持った行動を身に付ける。						
前提知識	1年次から3年次までに修得した基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識全般。 1年次から3年次までに修得した作業療法評価法及び治療法の知識・技術全般 1年次から3年次までに修得したコミュニケーション能力、ルール、自発的行動等の社会性や実習生としての態度全般						
【実施形態】	講義()	演習()	実習(○)				
到達目標	職場における作業療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持つ。 1年次、2年次を通じての内容をさらに深め、基本的作業療法をある程度の助言・指導のもと行えるレベルになる。 保健・医療・福祉にかかわる専門職としての認識を高める。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	臨床実習 総合評価報告書 総合評価に基づく。					
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解	○			○	○	
	思考・推論	○			○	○	
実践・表現	○			○	○		

授業計画			
	回数	テーマ	講義内容・キーワード
9週間 (45日間)	1	臨床実習Ⅱ-①	
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
教科書 参考書	1年次から3年次まで使用した教科書・参考書類 その都度必要な文献・論文類		

【科目名】	臨床実習Ⅱ-②	専門分野 (8単位)	【講師名】 櫻井直人(作業療法士):医療機関にて14年実務経験 OT学科教員全員				
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】 第 3学年 作業療法学科				
【時間数】	360時間		【時間帯】 9:00～17:00 (他時間割参照)				
授業内容・目標	指導者の元、基本的作業療法を体験し実践する。また保健・医療・福祉の各分野の職場における作業療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持った行動を身に付ける。						
前提知識	1年次から3年次までに修得した基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識全般。 1年次から3年次までに修得した作業療法評価法及び治療法の知識・技術全般 1年次から3年次までに修得したコミュニケーション能力、ルール、自発的行動等の社会性や実習生としての態度全般						
【実施形態】	講義()	演習()	実習(○)				
到達目標	職場における作業療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持つ。 1年次、2年次を通じての内容をさらに深め、基本的作業療法をある程度の助言・指導のもと行えるレベルになる。 保健・医療・福祉にかかわる専門職としての認識を高める。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	臨床実習 総合評価報告書 総合評価に基づく。					
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解	○			○	○	
	思考・推論	○			○	○	
	実践・表現	○			○	○	

授業計画			
回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
1	臨床実習Ⅱ-②		
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
教科書 参考書	1年次から3年次まで使用した教科書・参考書類 その都度必要な文献・論文類		